



目 次	
●会長あいさつ	1
●副会長あいさつ	2
●本部役員紹介	3
●県教頭会ブロック別研究大会に向けて	4～5
●専門部の活動	6
●郡市教頭会ネットワーク	7
●新入会員の声	8～9
●随想	10



「一歩前に」行動する教頭会へ 育成する教頭会へ

新潟県小中学校教頭会

会 長 田 中 修 二

(新潟市立白山小学校)

平成28年5月の県小中学校教頭会理事会において選出され、代議員会で承認をいただき会長を務めさせていただくことになりました。会員の皆様のご支援・ご協力をいただき、関係諸団体と連携を図りながら、児童生徒の豊かな成長に一層貢献していく教頭会を目指していきたいと考えております。

さて、平成28年5月に文部科学大臣から「教育の強靱（じん）化に向けて」についてのメッセージが出されました。この中で、AI（人工知能）の進化など情報化・グローバル化が急激に進展する不透明な時代を、たくましく、しなやかに生きていく人材を育てるためには、学校教育を進化させていくことが重要と述べられています。さらに「学習指導要領改訂」と「次世代の学校・地域創生の実現」の一体的な推進が掲げられています。特に、「次世代の学校・地域創生」の実現では、「学校の指導體制の充実」「教員の質の向上」「チーム学校の実現」、そして「地域とともにある学校」への転換が重点事項となっています。これは、児童生徒も含め地域全体で学び合い、誰もが活躍できる場や安心して子育てできる環境を整備することにより次世代の地域創生の基盤とすることを示しています。

私たち教頭は、各校において「次世代の学校」「地域創生」に先頭になって取り組むことが求められます。その実現のために、学校の教育課題を的確に把握し、常に「一歩前に」出て行動し、職員をリードしていく気概をもたねばなりません。

新潟県小中学校教頭会は、小中学校教育の発展を目指し、研究活動を中核に据え、会員相互の交流を重視した活動を推進することを基本方針として、今年度は次の3点を重点として取り組みます。

- 1 全国公立学校教頭会第10期の研究主題「豊かな人間性と創造性を育む学校教育 キーワード 生き抜く力・絆づくり（3年次 最終年）」を受けて設定した当県独自のサブテーマ「生涯にわたって能動的に学び続ける子どもを育む学校づくり（3年次）」の達成に向けブロック別の研究大会を開催します。
- 2 各郡市教頭会において会員同士の交流と連携を深め、充実した組織活動と効果的な会務運営を推進します。また、新任教頭への必要な支援を行い、教頭職全体の資質・能力の維持・向上を図ります。
- 3 平成29年度の全県研究大会（上越大会）と平成31年度に開催予定の関東甲信越地区公立学校教頭会研究大会に向けて、資料の収集と計画・準備を進めます。

私たち教頭は、校長の学校経営方針に従い指導を受け、学校全体が児童生徒の教育に取り組むよう全力を尽くしています。求められるのは、組織的に連動する体制づくりと教職員の育成です。教頭はその中心です。児童生徒を育てるため総合的な教育活動を行う日本の学校において、教職員の育成は教頭に課せられた重要な課題です。教頭会は、常に会員相互の連携を図り、協力し取り組んでいきましょう。



「元気な学校、 元気な子どもづくり」

副会長 西條 敏一
(上越市立稲田小学校)

昨年度に引き続き、副会長を務めさせていただきます。微力ではありますが、一生懸命頑張りますのでよろしくお願ひします。

さて、先般5月19日に代議員会が開催され、今年度の活動がスタートしました。会員一人一人の皆様からの積極的な参画が県の教頭会の活性化につながると強く感じています。

日々の教育活動の要として学校運営に携わっておられる教頭先生方は、何を目標に日々仕事をされておられるでしょうか。

私は、「元気な学校、元気な子どもづくり」を一つの目当てにしています。元気な学校とは、元気な管理職がいる学校という話を聞いたことがあります。今の現状をキープし、安定的な学校運営でなく、校長の経営ビジョンを受け、一步新たな活動を入れ、プラス1(ワン)の活動を心掛けること、また、「攻め」のスタンスをもって発信し、教職員の意識を変革しながら、協働していくことです。その「攻め」の方向性は、今まさに新学習指導要領の改訂にむけた方向性であります。目の前の子どもたちが目を輝かせて元気になる学校づくりを、健康に留意しながらお互い進めていきましょう。



応 援

副会長 多田 和幸
(長岡市立阪之上小学校)

小学校では多くの学校で運動会が行われました。競技もさることながら、熱の入った応援が繰り広げられたのではないのでしょうか。

「応援」を辞書で引くと、①(単独では初期の目的の速やかな達成が必ずしも期待しがたい者に対して)仕事の肩代わりをして能率の上がるようにしてやったり物心両面にわたって激励を与えたりして、目的を成就させてやること。②外野に居て(味方が

居るということを示して)当事者を元気づけることとあります。「新明解国語辞典(三省堂)」

「応援」する側は、本来「当事者」ではありませんし、受け取る側ではないのかもしれませんが、しかし、子どもの応援・スポーツ選手の応援・アイドルの応援・・・様々な場面で、「応援」する側も楽しく、元気をもらい、それ自体が目的になることもありそうです。

当会でも、応援する立場される立場、いずれの時にも、常に当事者として共に喜び・悩み・楽しみながら活動していきたいものだと思います。

会員一人一人にとって、互いに応援し合い、成長し合える会となるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。



「よろしくお願ひします」

副会長 中野 民生
(新潟市立木戸中学校)

昨年度発行の会報179号で、1月に行われた『教育懇談会』について、西條副会長からの報告がありました。研究協議題は「地域の特色を生かし、地域と共に歩む学校づくり～キャリア教育の推進～」でした。協議では、「キャリア教育は体験活動が中心に置かれ、たくさんの成果を生んでいるが、その中で子どもたちの変容を的確に評価しなければならないこと。」また、「地域の素材をどう活用していくのが大切であること。」が再確認され、「活動が何の学びにつながっているのか意識していかなければ、体験ありきなってしまう」という指摘がなされました。

さて、今年10月には日本教育会「全国教育大会新潟大会」が新潟県民会館で開催されますが、そこでもテーマを「キャリア教育～子ども、学校、地域がもっと輝くために～」としたシンポジウムがプログラムされています。大学事務局長・会社社長・PTA連合会会長といった各界の代表がシンポジストとして登壇し、「県元気大使」4代目、フリーアナウンサーの伊勢みずほさんがコーディネートします。教頭会員には、「学びを意識して」参加していただくことを期待します。

「一步前に」出て行動する教頭会を心掛け、精一杯取り組んでまいります。一緒に頑張りましょう。

平成28年度 **本部役員紹介** (役職・氏名・現任校)

本部役員



幹事長
宮本 透
(新潟・坂井東小)



会計幹事
竹内 邦彦
(新潟・新津第二小)



地区庶務幹事
滝澤 幹愛
(上越・高士小)



地区庶務幹事
上村 満
(長岡・四郎丸小)



地区庶務幹事
下村 佳之
(新潟・葛塚中)



地区庶務幹事
石田 雄介
(五泉・川東小)



調査要請部長
中谷 記子
(新潟・金津小)



広報部長
渡邊 一英
(新潟・黒崎中)



研究部長
小島 隆宏
(上越・南本町小)



教育課題部長
星 徹
(長岡・東中)

監査役員



会計監査
小林 恭子
(柏崎・米山小)



会計監査
松井 浩一
(長岡・川崎小)



会計監査
金田 妙子
(新潟・東曾野木小)

事務局



事務局
脇屋 雅実

第52回 新潟県小中学校教頭会研究大会に向けて (第10回 新潟県小中学校教頭会ブロック別研究大会に向けて)



研究部長 小島 隆 宏
(上越市立南本町小学校)

第52回研究大会に向けて

平成28年度、県教頭会の研究部長を務めることとなりました、上越市立南本町小学校 小島 隆宏です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年度に引き続き研究部長を務めることになりました。気持ちも新たに第52回研究大会に向けて取り組んでまいります。

今年度は、全国公立学校教頭会第10期研究活動の3年目になります。10月28日にブロック別研究大会を開催し、6課題14分科会に分かれて研究発表及び協議を行います。

第10期の研究では、自立・協働・創造に向けた子ども一人一人の主体的な学びを保障する学校づくりが重要です。昨年度の2年次研究の成果と課題を踏まえて、それを生かした研究大会となるよう、各提言者が単位教頭会での組織的な取組をもとに提言発表の準備を進めていってほしいと思います。そして、それぞれのブロックごとに、本番に向けてより分かりやすく、主張が明確になるように提言や原稿の検討が行われることを期待しています。

1 研究主題

「豊かな人間性と創造性を育む学校教育」

(全国公立学校教頭会第10期統一研究主題)

2 サブテーマ

～生涯にわたって能動的に

学び続ける子どもを育む学校づくり～

3年次研究

3 大会の趣旨

全国公立学校教頭会第10期統一研究課題「豊かな人間性と創造性を育む学校教育」のもと、新潟県の今日的な課題を踏まえたサブテーマ「生涯にわたって能動的に学び続ける子どもを育む学校づくり」を

追究する第10期の研究がいよいよ3年次を迎えます。

本大会は、第10期の最終年度として「研究課題の焦点化」「研究の協働性の充実」「教頭の関与性の明確化」をさらに充実させ、一人一人が大会に主体的に参加し、各学校及び各教頭会でなされた取組について協議、互いの実践から学び、成果と課題を共有し、教頭としての資質向上をめざす大会です。

また、ブロック別開催により得られる効率的な大会運営、研究課題の焦点化、研究の協働性の充実を図っていきます。

4 期 日

平成28年10月28日(金) 午後開催の予定

5 分科会(6課題14分科会)

【上越ブロック】

課題番号と課題	提言教頭会
1A 教育課程に関する課題(小学校)	妙高市教頭会
3B 教育環境整備に関する課題(中学校)	上越市教頭会
5A 教職員の専門性に関する課題(小学校)	糸魚川市教頭会 関ブロ

【中越ブロック】

課題番号と課題	提言教頭会
1B 教育課程に関する課題(中学校)	加茂市・南蒲原郡小中学校教頭会 関ブロ
2A 子どもの発達に関する課題	小千谷市小・中・特別支援学校教頭会
3 教育環境整備に関する課題	見附市教頭会
4B 組織・運営に関する課題(中学校)	十日町・中魚沼郡小・中学校教頭会
6A 教頭の職務に関する課題(小学校)	長岡市三島郡小・中・総合支援学校教頭会

【下越Aブロック】

課題番号と課題	提言教頭会
4 組織・運営に関する課題	新潟市小学校教頭会
3 教育環境整備に関する課題	佐渡市小・中学校教頭会
4 組織・運営に関する課題	新潟市中学校教頭会

【下越Bブロック】

課題番号と課題	提言教頭会
1A 教育課程に関する課題(小学校)	新発田市教頭会
5 教職員の専門性	胎内市小中学校教頭会
6 教頭の職務に関する課題	五泉市小中学校教頭会

6 研究の基本方針

全公教の基本方針並びに全国統一研究主題を踏まえ、今年度も次の3点(3C)に焦点を当てた実践的な研究を進めていきます。

- (1) 客観的で継続性のある研究 **continuity**
- (2) 組織的で協働性のある研究 **collaboration**
- (3) 教頭としての関与性を明確にした研究 **commitment**

この3Cを基本方針として、視点を明確にした鋭角的な研究を進め、教頭としての資質向上につなげていきたいと考えています。

7 研究内容について

第10期の研究では、自立・協働・創造、に向けた児童・生徒一人一人の主体的な学びを保障する学校づくりがより重要であると考え、その教育活動の中核となる教頭の在り方を追究するため、サブテーマ「生涯にわたって能動的に学び続ける子どもを育む学校づくり」を設定しました。

新潟県小中学校教頭会では、「生涯にわたって能動的に学び続ける子ども」とは、次のような資質や能力を備えた子どもであるととらえています。

- (1) 多様な個性・能力を伸ばし、充実した生活を主体的に切り拓くことができる子ども
→ 「自立した子ども」
- (2) 個人や社会の多様性を尊重し、共に支え合い、高め合うことができる子ども
→ 「協働する子ども」
- (3) 自立・協働を通じて新たな価値をつくり出すことのできる子ども
→ 「創造する子ども」

これからの激動の社会を生き抜く子どもたちには、自ら考え、多様な人々と協働しながら主体的に課題を解決し、新たな価値を創造する力が求められています。このような力を育むために、学校・家庭・地域の連携をさらに促進し、協働型・双方向型の新しい学びへと移行させていかなければなりません。

また、一層学校内外の様々な知恵・資源を取り入れていくことにより、学校の在り方を児童生徒の教育の場であると同時に、多様な人々が集まり、協働し、創造する学びの拠点として進化させていくことが期待されています。

よりよい方向を目指した教育課程・教育活動の改善と充実、教師の資質・能力、指導力の向上に取り組んでいきましょう。そして、学校が保護者や地域社会と協力・連携し、ともに歩んでいきましょう。

学校づくりの中核となり、校長を補佐しながら学校運営を推進し、職員に対してリーダーシップを発揮していくことが教頭の職務であり責務です。新潟県小中学校教頭会は、組織的・協働的に、教頭のあり方を鋭角的にかつ多面的に追究し続けていきたいと思ひます。

8 実践の窓口

サブテーマ「生涯にわたって能動的に学び続ける子どもを育む学校づくり」の追究のために6つの窓口を設定しました。私たちの研究は、新潟県・新潟市の課題をしっかりと受け止め、自校の抱えている課題を把握し、その解決を図ることが目的です。

課題を解明する実践においては、教頭の職務内容に焦点付けた視点が必要です。そこで、「全公教の内容例・視点例」を参考に理事会や代議員会において、6つの窓口と新潟県小中学校教頭会としての実践の視点を説明しました。(実践の視点はあくまでも例示であり、各単位教頭会において追究していく内容を絞り込んで実の上がる研究を推進してください。)

----- お 願 い -----

- (1) ブロック別研究会では、全教頭が参加分科会・グループ協議に主体的に参加するようお願いいたします。会員一人一人が、研究大会のより一層の充実を目指し、大会要項の精読・協議の柱の確認などを行ってください。
- (2) 平成29年度の新潟県小中学校教頭会の研究大会は、上越市を会場に全県研究大会が行われます。28年度中に、課題配当予定に従って、29年度の研究大会の組織づくりを確実に進めていただきたいと思います。

また、平成31年度は、新潟市を会場にして、関東甲信越地区公立学校教頭会研究大会(第55回新潟県小中学校教頭会研究大会)が行われます。

大会の成功に向け、計画的な研究推進をお願いします。

～～～専門部活動報告～～～



教育課題部の活動

教育課題部長 星 徹
(長岡市立東中学校)

新潟県の「最重要教育課題」の解決に向けて、教頭として、どう取り組むべきかを示していきます。具体的には、ご協力いただきました教育課題アンケートの集約結果の分析を通して行います。

第10期全国統一研究主題「豊かな人間性と創造性をはぐくむ学校教育」の全国共通研究課題に沿ってアンケートを作成しました。『研究の手引き』（全国公立学校教頭会）を基に、サブテーマ追究の窓口と実践の視点の選択肢を検討しました。

今年度は、第52回新潟県小中学校教頭会研究大会各ブロック別研究大会に向け、現在の会員が抱える問題に焦点づけ調査を実施します。会員の取組・実践のアンケートの項目を精査し、課題解決に向かいながら有効な方策がなく困っている内容を明らかにすることを通して、来年度以降の教頭会の課題・研究の参考資料としたいと考えました。

回答いただいた内容は、今後、教育課題部で集約・分析し、県小中学校教頭会のホームページや年度末発行の『教頭の勤務実態調査及び教育課題意識調査』（調査要請部と合同作成）で発表します。



調査要請部の活動

調査要請部長 中谷 記子
(新潟市立金津小学校)

次の2つの事業を柱に活動を展開します。

- 1 勤務実態調査（本県独自）及び全国公立学校教頭会個人調査実施と報告書の作成
- 2 「平成29年度新潟県義務教育の振興に関する要望書」の基礎資料作成のための調査実施と意見報告書作成

昨年度末に発行した報告書によれば、朝7時以前に出勤している会員の割合が39.6%、夜20時30分以

降に退勤する割合は29.7%で、睡眠時間5時間未満の割合が16%でした。この厳しい実態を関係機関に訴え、全公教とも連携して勤務条件の改善につなげていきたいと考えています。

10月には、8月下旬に県校長会から示される「県義務教育の振興に関する要望書」の要望事項に合わせ、アンケート調査を実施します。私たち県教頭会の要望が次年度に反映されるよう、会員の皆様の忌憚のないご意見をよろしく願います。



ネットワークの一層の広がり 725の思いをつなぐ広報活動を

広報部長 渡邊 一英
(新潟市立黒崎中学校)

県内では、それぞれの学校が地域に根ざした素晴らしい教育実践を行っています。広報部では、それらの実践、ブロック別研究大会に向けた各郡市の取組、会員皆様の思いなどを、会報の発行を通して紹介していきます。

180号…本部役員の紹介と挨拶、各ブロック大会に向けて、専門部の活動予定、新入会員の声、郡市教頭会の紹介、随想

181号…各ブロック大会に向けて、全公教徳島大会参加報告、新入会員の声、郡市教頭会の紹介、特集（小千谷市）、随想

182号…各ブロック大会の報告、関プロ茨城大会参加報告、郡市教頭会の紹介、特集（上越市）、随想、教育懇談会報告

「特集」では、昨年度と同じく、県の喫緊の課題の一つである「キャリア教育」にスポットをあて、小千谷市小中学校教頭会と上越市教頭会から取組を紹介していただく予定です。

会報の発行に当たっては、例年どおり郡市会長から執筆者の選定及び原稿依頼をお願いし、会員の皆様からはお忙しい中、原稿執筆のご協力をいただいております。725名の会員の連帯、協調を図るという目的が達成されるよう、広報部員で協力して、会報を編集していきます。どうぞよろしく願いいたします。

都市教頭会ネットワーク



やる気と自信を生み出す教頭会

新潟市中学校教頭会

長谷川 智 明

(新潟市立岩室中学校)

新潟市中学校教頭会の会員は60人です。大勢の会員が所属しています。毎月1回、一堂に会して定例会議が開催されます。「何でも相談できる教頭会」をモットーに様々な情報交換が行われ、有意義な会となっています。定例会議を迎えるにあたり、その前には校長会の定例会議が行われており、各校においては校長から教頭へ指導事項の確実な伝達が行われています。教頭は有益な情報をもって教頭会に臨むことになります。

定例会議の冒頭では、市教委からご指導をいただきます。指導者の豊富な経験をもとにした体験談や具体的にご指導に、市教委からの教頭会に対する期待と支えられている安心感を感じます。また、教頭会は各委員会が組織され、今日的な課題に対する研修会が計画的にもたれています。区ごとの小グループに分かれての情報交換も行われます。教頭としての資質向上に役立っています。

普段は、教頭専用メールで、情報をやりとりします。とても有効な手段です。事務局をはじめ様々な会員からタイムリーな情報をいただいています。お互いに忙しいので、手の空いた時間に見られるメールは非常にありがたいです。

一人では解決できない問題が生じることがあります。そのようなときは、教頭会のつながりで他の教頭に遠慮なく聞きます。快く相談にのってください。大変ありがたいです。

私が、こうしてまがりなりにも勤務できるのは教頭会の存在が大きいです。教頭会で得たネットワークと貴重な情報をもとに、やる気と自信をもって職務にあたり、職員と関わることができます。学校運営や、人材育成にプラスに働いていることを強く実感しています。

今後もやる気と自信をもって勤務できるよう、教頭会のネットワークを大切にしていきたいと思います。



研究と懇親会事情

佐渡市中学校教頭会

小 沼 泰 高

(佐渡市立相川中学校)

佐渡市中学校教頭会は、13の市立中学校と県立中等教育学校の合計14校の教頭で構成されています。27年度末・28年度始めの異動で教頭の交替があった学校は1か校だけということもあり、前年度同様アットホームな雰囲気の中で、事業のスタートを切りました。

組織は、地域をもとにAからCの3グループに分け、広報部と研修部の役割を持ち回りで担当することにしています。

今後の研究としては、29年度（ブロック）、30年度（全県）、31年度（関ブロ）に、「子どもの発達課題」について発表させていただきます。27年度の関ブロ発表（教頭としての関与）で取り上げた「キャリア教育」の成果と課題を踏まえ、2年サイクルで協働研究を進めていきます。キャリア教育は、新潟県と佐渡市の重点です。この研究を通して、自校、佐渡市、新潟県の教育への貢献はもちろんのこと、教頭としての職能の向上も目指します。

最後に、懇親会についてです。懇親会は、校内では一人職である私たちのオアシスとなっています。この懇親会に、当会ならではの特徴が2つあります。1つ目は「金曜日になるべく設定しない。やむを得ない場合は、19時までの日程にする」というもので、島外に自宅を構える会員が最終のフェリーに乗船できるようにしています。2つ目は「懇親会後に宿泊する会員が多い」ということです。初めて佐渡に赴任した会員が、「佐渡は想像以上に広いですね」と口々に言っています。この言葉のとおり、佐渡では酒宴を終えてから帰宅するのが実は難しいのです。このような事情をやりくりしつつ、互いの活躍を讃え合ったり、相談し合ったりしながら、明日への鋭気を養い合っています。



日々誠実に 感謝の気持ちを忘れずに

妙高市立妻太北小学校

竹田 正子

着任早々、学校近くの県民休養地に群生するカタクリの花が出迎えてくれました。妙高山に抱かれた豊かな自然環境、協力を惜しまない地域の方々、素直な子どもたちとやる気ある教職員。恵まれた教育環境で教頭として新生活のスタートが切れたことに感謝するばかりです。

次々に届く文書、地域の方々や関係機関との連携、校地校舎の点検と修繕、会計等に追われる毎日ですが、今まで見えていなかったものが見えてきました。これまでの充実した学校生活は、様々な人や組織、法令に支えられて成り立っていたことです。日々誠実に感謝を忘れず、広い視野から新たな職務に力を尽くしたいと決意を新たにしています。

当校では、コミュニティ・スクール元年を迎え、学校・家庭・地域が手を携えて子どもを育ていこうとする気運が高まっています。新たな出会いに感謝して、カタクリのように妙高の大地に根を張って頑張っていきたいと思えます。



美しい妻有の地で

十日町市立水沢中学校

廣川 統

語先後礼のおはようございます。全校生徒139名のそろった挨拶に圧倒された新任式。美しい妻有の大地、長い伝統、良き習慣がある水沢中学校で教頭として新たなスタートを切らせていただきました。

校長先生、前任の教頭先生に一からご指導いただき、教務主任の先生に支えられて、もう数か月が過ぎてしまいました。「校長を助け」、「校務を整理し」という教頭職の重さを、身にしみて感じる毎日です。

このような中、教頭会へ出席して、諸先輩方と直接お話しできることが、これほど励みになるとは思いませんでした。温かいお言葉、たくさんのアドバイスとユーモアをいただいております。

多くの皆様と家族の支えがあって教頭職を務められることに感謝の気持ちを忘れず、今後は校長、職員をしっかりと支えられるよう努めて参ります。どうぞよろしくお願いたします。



「新たな一歩」

小千谷市立東小千谷小学校

小島 誠

東小千谷小学校は、昨年度統合90周年を迎えました。今年度は、100周年に向けての「新たな一歩」を確実に進めていくことを大きなめあてとしています。そんな東小千谷小で、自分自身も「新たな一歩」を踏み出すこととなりました。

小千谷市といえば、錦鯉、牛の角突き、へぎそばなどでご存知の方が多いと思います。国の重要無形文化財である小千谷縮は、ユネスコの無形文化遺産にも登録され、注目を集めています。伝統と豊かな文化溢れる小千谷市ですが、何より、小千谷を愛し、子どもや学校への支援を惜しまない地域の皆さんの心こそ、大きな財産だと実感する日々です。

慣れぬ業務に戸惑うことばかりですが、保護者や地域の皆さんとの連携を大切に、教頭会の先輩方からのご指導をいただきながら職務に邁進する所存です。どうぞ、よろしくお願いたします。



真の教頭を目指して

燕市立吉田北小学校

小山 政之

「校長を助け、校務を整理し、及び必要に応じ児童の教育をつかさどる。」4月1日から教頭としての職務が始まりました。どうしたらよいか分からない業務に追われ、あたふたしている私に心温まる言葉をかけてくださる校長先生。「〇〇についてはどう対応したらよいですか？」という職員の問題に「調べて確認してみます。」という頼りにならない返答。出張授業の時間割を間違え、不要な時に教室に向き、担任を慌てさせる困った授業者。「校長に助けられ、校務を停滞させ、必要ないときに教育を行おうとする」これが現在の私の姿です。それでも「教頭先生」と呼んでくれる子どもたち、職員、保護者・地域の皆様があります。その期待を裏切らないためにも日々精進し、真に教頭として職務を全うできるようにしていきたいと考えています。どうぞよろしくお願いたします。



「ともにきらきらかがやこう」 の具現のために

新発田市立猿橋小学校

池田 裕之

「瑳玖良校（さくらこう）」という異名がある赴任校。その校庭の桜を愛でる余裕もなく新任教頭としての勤務がスタートしました。理想としていた教頭像とは程遠く、全校児童数657名の大規模校の中で、目の前にある業務に翻弄され、右往左往しています。しかし、明るく前向きな職員、素直で元気な子どもたちに支えられ、充実した毎日を送ることができることに感謝しております。

「ともにきらきらかがやこう」は当校の重点目標です。その具現に向け、子どもたちのため、保護者・地域のため、教職員のために、教頭として何ができるか、考え、行動していくことが今後の課題です。力不足を痛感する毎日ですが、子ども、地域、教職員の連関の中で、自己を磨き、自身もかがやけるよう努力を続けていきたいと思えます。



信頼される学校をめざして 日々努力!

佐渡市立両尾小学校

本間 英一

全校児童27名、海と山に囲まれた自然豊かな環境の中で、新任教頭としての勤務がスタートしました。4月は教頭という立場と仕事に慣れるのに精一杯、気が付けばもう夕方という毎日でした。中でも「教頭先生」と呼ばれることには、気恥ずかしさもあって慣れるのに時間がかかりました。

5月には、学校・保護者・地域が一体となった運動会を経験しました。学校に協力を惜しまない保護者と地域の方々の姿からは、学校が地域にとって大きな役割を果たしていることを実感しました。

そんな両尾小学校も114年の歴史に幕を閉じ、今年度末をもって閉校となります。そのような重要な年に教頭として赴任できたことに喜びと責任の重さをひしひしと感じる毎日です。子どもたち、保護者、地域の方々にとって思い出に残る1年となるように教頭として精一杯努力してまいります。



「思い出の地での 新たなスタート」

阿賀野市立京ヶ瀬小学校

加藤 義隆

幼い頃、家族で訪れた瓢湖、たくさんの白鳥に目を奪われました。小学生となり、苦しみながら登り切った五頭山の頂上、やり遂げた喜びと感動は、今も忘れません。そして、子どもたちを引率し訪れた五頭少年自然の家。たくさんの懐かしい思い出のある阿賀野市に赴任できたことを、とてもうれしく思います。

教頭として2か月が過ぎましたが、日々、仕事に追われています。だからこそ、気持ちにはゆとりを持ち、教職員の皆さん、子どもたちとは明るく接するよう心掛けています。

監督（校長）のもと、チーム京小のコーチとして1日も早く各選手（教職員）のよさ引き出し、毎試合（毎日）、価値ある試合（教育活動）を展開できるよう、気配り・目配り・心配りをモットーに、一人一人の教職員・児童を大切に接していきます。



欠かせない存在に

阿賀町立上条小学校

小樋山 寿幸

4月、41人の笑顔が私を迎えてくれました。同時に子どもたち、学校、地域に対する教頭としての職責の重さを実感しました。

先輩の方々から「校長の方針を受けながらも、自分なりの工夫をして、楽しい学校づくりに取り組みなさい」「職員や子どもをよく見て、相談に乗ってもらえる、頼られる教頭になりなさい」「教頭はいつも元気で、健康でいることが大切だ。それが学校の活力につながる」と教頭としてあるべき姿について、励ましのお言葉をいただきました。

これを忘れず、「地域にどっぷりつかり、地域をどんどん知り、地域のためになることをする」を信条に、校長、職員、子どもたち、保護者・地域のみなさん、阿賀町に欠かせない存在となるべく誠実に情熱をもって臨みます。

随 想



まだまだ挑戦！ ～心に残る2つの教え～

胎内市立黒川中学校

船 木 尚

日々の忙しさを理由に、つい前年踏襲になったりマンネリに陥ったりしがちである。自分を戒め奮起するために、ときどき思い返す教えがある。

1 守・破・離

武道等で使われる言葉で次のような意味をもつ。

「守」：師に言われた基本の型を守り、実践すること

「破」：既存の型を破り、自分に合った型を作ること

「離」：型から離れ、新たなもの開発・創造すること

自分は果たしてどの段階にいるのか、ふりかえるとともに、最高を目指し精進したいと考えている。

2 チューリップの教え

冬に花を見たいと思い、鉢植えの球根を温かい室内で育てた。葉や茎は伸びるが花は咲かなかった。花屋に聞くと、「球根は冬の寒さにあわせないと花にはならない」。自らの花を大きく咲かせるべく、厳しさと困難にも、まだまだ挑戦していきたい。



現代の生活習慣と「眠育」

三条市立月岡小学校

恩 田 知 弥

規則正しい生活リズムを身に付けるために、年3回【生活チャレンジ週間】を設定している。今年度の目標は、テレビ、ゲーム等のメディアにかかわる時間を1日1時間以内、起床時刻を6時半・就寝時刻を1～3年生は21時、4～6年生は21時半とした。社会の生活形態の変化や子どもたちが参加する各種活動等で設定した就寝時刻を守ることは難しいだろう。「眠育」の研究を進める三池は「睡眠は子どもの脳を創りその働きを育て維持する大事な時間。しかし、早寝早起きは家庭の事情でできない方もいる。」と述べ、規則正しい生活の実現が困難になっていると述べる。今年度、「眠育」の研修を深め、生活チャレンジ週間の活動をとおして、「眠育」の効果的な働き掛け方について研修を深めたい。



平成28年度 各種大会日程

- ①日本教育会支部理事会総会（上越市）→〈7月9日（土）〉
- ②全国公立学校教頭会研究大会 徳島大会 →〈7月27日（水）～29日（金）〉
- ③県同教研究集会 妙高大会 →〈8月4日（木）〉
- ④日本教育会全国教育大会（新潟市）→〈10月1日（土）〉
- ⑤第52回県小中教頭会研究大会・第10回ブロック別研究大会 →〈10月28日（金）〉
- ⑥第57回関東甲信越地区公立学校 教頭会研究大会 茨城大会 →〈11月10日（木）～11日（金）〉
- ⑦第41回全国公立学校教頭会 中央研修大会 →〈2月10日（金）〉

*各研究大会への参加協力ありがとうございます。よろしくお願ひします。

新潟県小中学校教頭会
[事務局]
県教頭会ホームページ
全国公立教頭会ホームページ

〒950-0911 新潟市中央区笹口2丁目7-17 和田ビル2F
E-mail n-kyotoh@crest.ocn.ne.jp TEL (025) 244-8225
http://kenkyoto.ngt.ed.jp/ FAX (025) 244-5060
http://www.kyotokai.jp/